

3 記入のポイント 保存活用計画書 (2/4)

2 自然、歴史、文化等からみた景観特性

□景観資産の魅力

○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

景観資産の魅力をまとめます

「魅力ある景観」とは、安心や安全性、文化性、周辺との調和、視点場の快適性など、人の五感により、それぞれの感性で判断されます。景観の魅力をもとめることで、景観の価値を共有しましょう。

□自然的特性

○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

景観資産の自然、歴史、文化的な意義を掘り下げます

- ・地形、気候、植生などの自然条件による特性
- ・時間や四季の変化による景観の変化
- ・地域の歴史的な変遷と景観の移り変わり
- ・文学的位置づけ、人の生活や生業との関わり

などを情報収集し、まとめることで景観資産の持つ価値や意味を深めます。

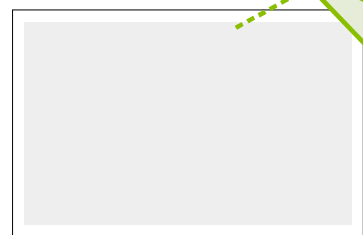
□歴史・文化的特性



○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

point 09
記載内容を示す写真等
(随時)

□周辺環境との関係



○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

山々、市街地、農地など、まわりとの関係を分析します

特に、建物や公共施設は、地域の景観を構成する重要な要素であり、周辺の景観との一体性や調和が重要となります。借景となる周囲の山や田園などの景観を構成する要素との関係を考察することで、登録範囲を超える周辺地域との関係を明らかにし、景観のもつ意味や価値を深めます。

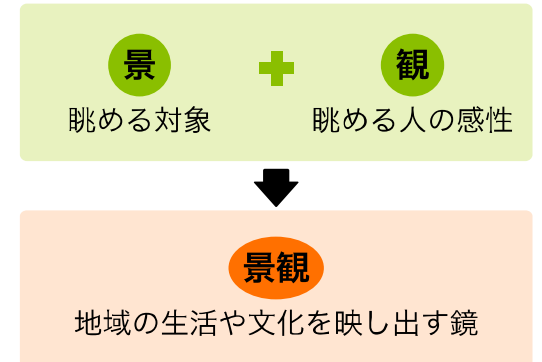
保存活用計画書チェックポイント② 景観資産の魅力とは？

地域の景観が持つ意味

景観とは、「建物や樹木、川などの眺める対象である空間」=「景」を、「私たちがそれを眺め、感じる」=「観」ことから成り立ちます。

私たちは地域の景観を考えると、お化粧をした表面的な見かけだけではなく、地域の歴史や習俗、住民の営みなど、地域の性格に触れ、感じることで、より魅力あるものとして認識するのではないのでしょうか？

このように、地域の景観が形づくられてきた歴史的背景や文化的な土壌、人々の関わりなどを明らかにすることで、地域の景観の持つ意味や価値を共有でき、より景観の魅力が引き出されます。



1. 景観資産の魅力の見つけ方

資料	人	まち歩き	マップ
地域の歴史や伝承などの資料から、景観の成り立ちを調べてみましょう。	身近な景観の移り変わりは、地域の語り部や歴史に詳しい人に聞いてみましょう。 資料では見つからない発見や新たな人の繋がりが生まれるかも。	みんなで地域の良いところ探しなどをすると、日ごろ気にしていない地域の資源が発見できることがあります。住民以外の方の参加があれば、より客観的に地域の魅力が発見できます。	まち歩きやワークショップにより、持ち寄った地域の魅力を地図に書き込んでいくことで、地域の景観イメージや景観づくりの方向性を共有することができます。

2. 景観を構成する個々の要素とそれぞれの関係

例えば、歴史的な街並み景観であれば、建物、街路樹、敷地内の植栽、背景の山並みなどの個別の要素とその調和により構成されています。

このように、美しい景観は、様々な個別の要素とそれらの総合的なまとまりや調和が図られることにより形づくられています。

景観を評価する場合には、個々の施設の見え方だけではなく、登録地区の周辺の街並み、自然との調和や生態学的な繋がりなどの関係を総合的に捉えることが大切です。



三上家 (宮津市)



美山町北地区 (南丹市)